

秦野市立大根中学校

研究テーマ:「ICTの授業活用について」
～学習者の意欲向上と職員の業務改善を目指して～

1 実践の目的

昨年度に引き続き、本校では次の2つを重点におき、課題解決に向けて取り組んだ。1つは、子どもたちがICT端末を日常的に活用できるようにするため、新たな学び方を開拓することである。そしてもう1つが職場の大きな課題である職員の多忙化や長時間労働の改善を、ICTの活用を通して実践していくことである。これまでの取組みを土台に、さらに発展させていきたいと考えた。

2 実践の内容

5月29日(月) 第1回研究推進委員会
「テーマ設定と今年度の取組みについて」
6月19日(月) 研究全体会
「テーマと取組みについて全職員で共有」
8月23日(水) 校内研修会
「採点業務支援システム活用研修」
9月20日(水)・10月16日(水)
11月20日(月)・12月11日(月)
校内研修会「職員会議前に行ったICTマイスターによるミニ研修」
10月26日(木) 校内研究会
平井聡一郎氏による講演会「社会の変化に合わせて、変わり続ける学校へ」
1月29日(月) 第2回研究推進委員会
「研究の振り返りと反省」
2月5日(月) 研究全体会
「研究のまとめと来年度に向けて」
(1) 授業活用について

今年度は、昨年度の研修及び講演会等で

得た実践例や情報をもとに、子どもたちが意欲をもって学習に取り組むことを目標に、各教科でICTを活用した授業を実践した。

例えば、ZoomやGoogle Meetといった通信アプリで海外の中学校と交流を深めたり、Google SlidesやCanvaを使ってスライドを作成しプレゼンテーションを行ったりした。

また、Kahoot!でクイズ形式の授業を行うなど新たな試みを行い、生徒の興味関心を引き出すことができた。

この背景には、ICTマイスターが職員会議前にミニ研修会を行ったり、授業で使いやすいツールや便利な機能、他校の取組み等の動画をアップしたりし、職員が活用できるよう努力してくれたおかげである。

また、10月の校内研究会では、平井聡一郎氏を講師にお招きし、「社会の変化に合わせて、変わり続ける学校へ」をテーマに、学校現場におけるICT活用の現状と我々教師の関わりについて、職員1人1台端末を使って実際の活用方法を交えて、ご講演いただいた。今後、学校が目指すべき方向性を教えていただき、大変有意義な研修会となった。



(2) 職員の業務改善について

採点業務支援システムの導入により、小テストから、単元・定期テストまで、大幅な採点時間の短縮と採点・集計ミスの軽減が図られた。

テスト結果は、生徒一人ひとりの端末に返却されるため、返却時間とその負担が一気に解消された。

さらに効率的に取り組むために、小テスト等で CBT に挑戦している職員もいるので、来年度は CBT についても検証していきたいと考えている。

「デジタル職員室」については、Google Sites を使っているため、学校以外の端末からもアクセスできることが最大のメリットである。活用方法としては日報（職員の連絡板）、生徒の欠席連絡、アンケート、職員会議・年間反省資料等が一本化され、ペーパーレスだけでなく、事前に資料を読み、質問や意見の書き入れができる等、会議の効率化にもつながっている。

3 実践の成果

2年間校内研究として取り組んできたことで、積極的に ICT を授業や業務改善で活用しようとする意識が職員の中で高まっている。

今年度の成果としては、段階的に採点業務支援システムを導入してきたが、多くの職員が利用して大幅に採点業務を軽減することができた。

また、昨年度検討していた生徒会 ICT 特別委員会を今年度発足することができた。委員会の主な取組みは、委員会及び各学級の HP を作成し、生徒が ICT を活用する際に便利な情報や学級の時間割、連絡事項等を ICT 委員会の生徒が HP 上にアップすることである。そのことで、生徒は、自宅でも明日

の予定等を確認することが可能となった。

さらに、ICT 委員が中心となって、全校生徒参加によるオンライン・クイズ大会を実施した。学校全体で多くの生徒が楽しみ、学年を越えた交流をすることができた。「来年度、ICT 特別委員会が必要だと思いますか」というアンケートでは、約 8 割の生徒が「そう思う」と答えている。

今年度の反省を踏まえて、より生徒が主体的に取り組める委員会にするとともに、正しい情報モラルを育成できるよう支援していきたい。

4 今後の展開

来年度より市で導入される統合型校務支援システムやデジタル採点システムをどのように取り入れていくかという課題がある。これまでに大根中学校で実践してきた取組みを活用しながら、職員が負担を感じることなく、今年度以上の業務改善が図れるように工夫していきたい。